

柏野学区防災まちづくり方針図

【御前通】【寺之内通】【蘆山寺通】

- ・日常の通過交通の利便性を図り、防災上重要な「みち」として、緊急車両の円滑な通行や避難経路を確保するために、沿道の耐震化・防火化や交差点の角地部分の隅切り整備を進めます。
- ・また、道路拡幅整備に向けて、無電柱化と合わせて、沿道住民及び関係者等との話し合いのもと進めます。

【鞍馬口通】

- ・防災上重要な「みち」として、沿道の耐震化・防火化を進め、避難経路や延焼防止機能を確保します。

- ・住民や土地所有者との話し合いのもと、敷地の集約化や共同化等により、まちの防災性を高め、住環境の改善に取り組みます。

- ・ボトルネック部分の解消に向けて取組を進めます。

- ・ボトルネック部分の改善に向けて取組を進めます。

- ・柏野らしい町並みを保全・継承しつつ、路地の安全性を高めていきます。

- ・南北方向に防災上重要な「みち」を確保するために、整備のあり方を検討していきます。

【学区全体に関する方針】

- ◆危険ブロック塀の改善、2方向避難の確保、細街路の拡幅、路地の適正管理等を進めます。
- ◆建替え時の後退部分の適正管理のルールづくり、私道の認定道路（市道）化に向けた取組を進めます。
- ◆柏野らしい町並みを残し、更新がしやすい環境づくりを進めます。
- ◆建物の耐震化・防火対策の促進、火災の予防啓発など建物の中及びその周囲の安全対策に取り組みます。
- ◆地域で空き家の状況を把握し、空き家所有者に対して利活用や適正な管理を促します。
- ◆空き家の発生予防、空き家利用やその活用方法のルールづくりに取り組みます。
- ◆老朽化空き家に対しては、所有者、京都市と連携しながら適切に対応します。
- ◆京町家の所有者に対して住み継ぎ等の大切さを伝え、京町家の保全・継承を進めます
- ◆既存空地の有効活用や交差点・角地の隅切り、老朽空き家の除却等によりポケットパークの確保を進めます。
- ◆路地や街並みの魅力を活かした敷地の集約化や共同化など一体的・面的な手法を用いた対策を進めます。
- ◆一人ひとりが防災への意識を高めるとともに、地域で災害時の避難に関するルールづくりを進めます。
- ◆日頃から地域住民同士のコミュニケーションを大切にし、地域防災力を高めます。
- ◆学区内の開発等を把握する仕組みづくりや防災まちづくりの資源を確保するための仕組みづくりを検討します。

凡 例

- 幅員4.0m以上
- 幅員2.7m以上4.0m未満
- 幅員1.8m以上2.7m未満
- 幅員1.8m未満
- 袋路（突き当りが建物）
- 袋路（突き当りが塀・柵等）
- 袋路（突き当りが扉）
- 避難所
- 地域の集合同所
- 消火栓
- 防火水槽
- 公共・公益施設
- 公園
- 寺社
- 河川
- 学区界

0 50 100 200m